

海外レポート @米国

ニューヨークで8月、国際見本市「ニューヨーク・ナウ(NY NOW)」サマー展が開催された=写真。横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)の支援を受け市内企業5社が出展、横浜市米州事務所も現地でサポートをした。陶磁器やテキスタイル、雑貨など多彩な製品で販路開拓に挑んだ参加市内企業は新たなパイヤーネットワークを獲得し、今後の取引や展開につなげた。



加えて、当事務所がIDEC横浜と連携してパイヤー面談や店舗視察同行など現地ならではの支援を行った結果、1社がブルックリンのダンボ(DUMBO)で1カ月間限定のポップアップストアを実現。ダンボはニューヨークのトレンド発信地として知られる。

ポップアップを実現したAZAYAKA JAPANの加藤幸子氏は「実際に現地で商品を手にとっていただくことで、日本からは見えない反応や声を知ることができた。世界のトレンドを体感する意義を実感した」と出展の意義を語る。

関税政策の揺らぎや市場環境の変化は続く中でも、米国市場は依然として大きな可能性を持つ。当事務所としても現地でのネットワークを生かし、市内企業の挑戦を今後も後押ししていきたい。(横浜市米州事務所副所長・西川勝裕)